

橋本直香 はしもと ちか 國學者。文化四年上野國山田郡境野村生れ、明治一十二年九月没（一八〇七—一八九）。諱朝雄、のち直香、通稱龜松、号八。號晚翠樓、蕉園。代々飛脚問屋を業とし、直香の時に積業を營むる不振。江戸に出て橋守部の門に入る。その後一家を成し赤坂に住す。旗本、御家人より庶民に及ぶ門弟を有した。「萬葉集」の研究に努むる。著書に『上野歌解』（昭和七年七月）『千白群馬・上野歌會刊行會』（『橋本直香集』（荒木田楠千代編、第一卷・昭和十一年八月）『千白犬岡山書店』等。

